

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (中国)		*	*	*
		スーパー（販売担当）	来客数の動き	・来客数が前年の112%と1月の不振を取り返す形で好調に推移しており、特に、衣料品の冬物セールが売上をけん引している。来客数の増加に比例して、服飾雑貨、靴、バッグ、化粧品、文具などの小物の売上が前年比100%を超える動きを見せており、比較的若い客層が活発に動いている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前年より天候が良いので来客数が増えており、前月から昼の来客数、特に工事関係の客が増加している。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・来客数は前年を割っているが、客単価は前年をクリアしている。
		コンビニ（副地域ブロック長）	お客様の様子	・前年と比べ天候が安定しており、中食や関連販売が期待できる飲料のニーズが高まっている。前年まで下降傾向であった来客数が今年に入り上昇傾向になっている背景には、地元企業や公共工事の増大もある。
		家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・リフォーム関係の動きが出始めている。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・決算期なので販売量とサービス入庫の来客数が増加しており、景気は上向いている。
		乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・客の反応が良い。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・以前と比べて客の動きが活発になっており、県外からの客足も前年より伸びている。
		一般レストラン（外食事業担当）	来客数の動き	・12月商戦を境に売上が前年数値をクリアし始め、現状110%以上を継続している。売上構成比が大きい週末と祝日のアイドルタイムを設けない営業体制にしたことと、曜日別、時間別にメイン客層に的を絞った戦術の効果である。ランチタイムの来客数は前年の130%となり、不調であったディナータイムは予約が増えて前年の105%となっている。食べ放題の構成比は小さくなっており、平日と金曜日の来客数は2けたの伸長である。
		その他飲食 [サービスエリア内レストラン]（店長）	来客数の動き	・天候が良く、客足が伸びている。
		通信会社（総務担当）	販売量の動き	・新たに開始した光サービスへの加入申込件数が好調に推移している。
		テーマパーク（営業担当）	来客数の動き	・雪が少なく暖かい日が続いており、客の動きが例年に比べて活発である。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要で僅かばかりの上乗せ効果が出ている。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・来客数が徐々に増加している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が減少し、客単価も低下している。客は購入を最小限度に抑えている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・客は低価格志向で買い控えの状況が続いている。
		商店街（理事）	来客数の動き	・人の動きは天候に左右されるが、景気に大きな変化はない。
		一般小売店[印章]（経営者）	お客様の様子	・売上は横ばいである。
	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・化粧品やヤング婦人服、店舗改装したりピング関連、天候に恵まれた観光営業部門は好調であり、閉店セールを実施している店舗の売上が前年を大きく上回っている。一方で、美術品と貴金属の催事が不調で前年売上を下回っているため、全体売上は前年を3%程度上回る。	

	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・インバウンドの売上は低下しているが、春物や定価品の動きが好調である。
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・数十万円の宝石は売れるが、100万円以上の商品は売れない。
	百貨店（売場担当）	お客様の様子	・2月前半は1月同様にストールやマフラー、手袋など冬物処分セール動きが鈍かったが、後半はバッグ、アクセサリを中心に春のフォーマル商品の目的買いの客が多く、前年並みの売上にまで回復している。
	百貨店（売場担当）	お客様の様子	・前月同様に近隣のグループ店舗の閉店で客の流入があるため、全体的に前年より良い状態にあるが、決して景気が良くなっているわけではない。
	百貨店（購買担当）	お客様の様子	・12月と2月に近隣の百貨店が閉店し、その閉店セールの影響で当店の状況は厳しかったが、バレンタイン商戦と物産展などの食に関わる催事で集客を図っている。春物が好調な婦人服が売上をけん引しているが、全体的に厳しい状況である。
	百貨店（人事担当）	販売量の動き	・来客数は前年を上回るものの、買上点数は下回っている。
	百貨店（外商担当）	単価の動き	・来客数はほぼ前年並みであるが、富裕層の購買動向が軟調で高額商品の動きが悪い。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・2月の来客数はほぼ前年並みで推移し、客はポイント企画や広告日などのお買い得日に大量に買う傾向で、客単価も前年をクリアしている。客の生活防衛意識が高く、日々の買物に関しては財布のひもは固い。
	スーパー（総務担当）	単価の動き	・来客数は増えているが、客単価が伸びていない。
	スーパー（販売担当）	お客様の様子	・今年はそれほど寒くないので、厚手のコートの動きが鈍く、値下げをしても客は必要な商品だけを購入する。
	スーパー（業務開発担当）	販売量の動き	・野菜類の販売点数は前年と変わらないものの、暖冬で価格が低下しているため客単価が上昇しない。
	コンビニ（支店長）	来客数の動き	・厳しい状況が続いている。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・客からは余り景気の良い話は聞かない。
	家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数が増加している。
	家電量販店（店長）	来客数の動き	・依然として来客数が前年比90%台前半で推移しており、3か月前と比較してもほぼ同じ状況である。売上も部門によって差はあるものの、全体では変わっていない。
	乗用車販売店（店長）	単価の動き	・販売量は好調で前年の102%、サービス在庫も順調に推移しているが、高額車両の販売量が伸びず、客単価は低下している。
	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・販売量が前年並みで推移しており、来客数も増加していない。
	乗用車販売店（店長）	来客数の動き	・新規の来客数が微増であるが、自社ブランド車間での乗換えが減少している。展示会でも来客数の変動はなく、購入見込み客が増えない。
	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・地方には東京オリンピックの影響はなく、景気が盛り上がる要素はない。
	その他専門店【土産物】（経営者）	来客数の動き	・暖冬のせいか平日でも客が多く、ランチバイキングの利用が多い。パンを買ってテラス席でコーヒーを飲む客も多く、来客数は好調に推移している。
	その他専門店【時計】（経営者）	単価の動き	・高額商品を購入する客はいるが、全体的に客単価は低下している。
	その他小売【ショッピングセンター】（所長）	来客数の動き	・前年4月に大改装を実施して以来、来客数が前年を10%以上上回っている。工事中で仮囲い状態であった前年の改装前と比較して、今年はその反動で売上が好調であるが、3か月前と比較した場合は好調に推移という状況で変わらない。

高級レストラン (事業戦略担当)	販売量の動き	・先の予約状況が前年と変わらない。
一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・今年は積雪が少なく、客の動きは活発であるが、外食利用には結び付いていないことに加え、店舗の人手不足も深刻である。
都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・宴会数と来客数が増加し、客単価が上昇しているが、宿泊客数は前年並みである。
都市型ホテル (企画担当)	お客様の様子	・従来2月はオフシーズンであり、国内団体観光客は少ない状況であるが、旧正月の影響で外国人観光客が前年よりも多い。
都市型ホテル (総支配人)	販売量の動き	・前年同時期とほぼ同様の状況で伸び悩んでいる。
旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・客が不景気に慣れてしまい、今できることに注視して一歩ずつ進んでいる状況にあるが、旅行に関しては良い方向に向いていない。
旅行代理店(営業担当)	販売量の動き	・引き続き売上が前年同月を割っている。
タクシー運転手	お客様の様子	・年度末であるが、それほど忙しくない。
タクシー運転手	お客様の様子	・暖冬でほとんど雪が降らず乗車率は良くないが、定期的な業務があるので売上は維持できている。
タクシー運転手	来客数の動き	・利用客が少ない。
通信会社(工事担当)	お客様の様子	・客の様子から景気に変化はない。
通信会社(企画担当)	お客様の様子	・前年末や年始以降、サービスに対する客の関心の度合いや動きが大変安定しており、低下する状況にはない。
観光名所(館長)	来客数の動き	・3か月前と変化はない。
観光名所(館長)	来客数の動き	・来客数に大きな変動がない。
ゴルフ場(営業担当)	来客数の動き	・天候に左右されるため、来客数は若干伸びているが、状況は変わらない。
競艇場(企画営業担当)	販売量の動き	・売上が横ばいである。
美容室(経営者)	お客様の様子	・客との会話で景気が良い話は出てこない。
設計事務所(経営者)	販売量の動き	・官公庁からは年度末に向けて古くなった建築の長寿命化改修工事の発注があり、民間では災害復旧工事が進み始め、一般住宅の耐震リフォーム化工事にも動きが出ている。
設計事務所(経営者)	販売量の動き	・年度末が近づいているが、例年と比べ新築住宅の引き合いが少ない。
住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・消費税の引上げの影響を見極めようとする慎重な客が多い。
商店街(代表者)	お客様の様子	・例年に比べて温暖な日々が続いているが、今月は来客数が大変少なく、売上の確保が厳しい状況である。
商店街(代表者)	単価の動き	・バーゲンセールになっても非常に売上が悪い。客は慎重に商品を選び、セール価格でも購入せず、消費が低迷している。
一般小売店 [茶](経営者)	販売量の動き	・販売量が低調に推移している。商店街では2店舗が廃業し、行政が運営する高齢者施設が7月で撤退することとなり、周辺住民から不安と失望の声が出ているため、ますます寂しくなっていく。
一般小売店[食品] (経営者)	お客様の様子	・売上高、来客数、客単価の前年比は低下傾向で、客の低価格志向も顕著であり、不要な商品を買わない姿勢は続いている。
一般小売店[眼鏡] (経営者)	販売量の動き	・メーカーの出荷量が前年同期より低下している。
百貨店(営業企画担当)	単価の動き	・積雪がないので来客数は増加しているが、ほぼ全部門で売上が前年をクリアできていない。
スーパー(店長)	販売量の動き	・来客数は前年並みに推移しているが、買上点数が減少し、売上が低下している。

	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は前年の97%未満である。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・買物回数が減少し、来客数が2月になって落ち込んでいる。
	スーパー（管理担当）	来客数の動き	・積雪がなく天候は安定しているが、客足は伸びない。鍋物商材の動きも悪く、客単価も上昇しない。
	スーパー（財務担当）	販売量の動き	・1品単価は前年と変わらないが、客の節約志向から買上点数が前年を下回っている。
	衣料品専門店（店長）	単価の動き	・ここ数か月、来客数が減少し、客単価も低下している。
	家電量販店（店長）	お客様の様子	・客は必要最低限の買物しかしない傾向である。
	家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・来客数が前年の90%で、客単価も上昇せず、景気は悪い。
	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・温暖化で降雪がないため、冬季商材が売れない。
	その他専門店【和菓子】（経営者）	販売量の動き	・来客数は多いが販売につながらず、外国人客が多くても商売にはつながらない。
	その他専門店【布地】（経営者）	お客様の様子	・確定申告が近い影響で客足が非常に少なく、また、客は値ごろ商品しか購入しない。
	その他小売【ショッピングセンター】（管理担当）	来客数の動き	・近隣の大型施設の影響で、平日はもちろん土日の集客が伸びない状況が続き、特に衣料関係の販売量が増加しない。また、季節関連商品の動きも鈍く、販売促進効果の出にくい時期で集客に苦労している。
	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・客は必要最小限の注文しかせず、景気は良くない。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・来客数が減少している。
	観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・1月末で13府県ふっこう周遊割が終わり、オフシーズンと重なって来客数が減少している。
	都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・景気施策である13府県ふっこう周遊割が終了し、国内の宿泊客はビジネス需要に戻り、また、インバウンド客も中国の春節に伴う個人客の増加があったものの、団体客は前年に比べて減少している。レストランでは、昼の個人利用は前年並みであるが、ディナーでの接待利用などは減少している。
	通信会社（広報担当）	お客様の様子	・客には通信業界が無料でサービスを提供してしかるべきとの意識があり、対価が発生するとの意識が薄く、とにかくコストを下げることにのみ興味を示す。
	テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・今年は雪が少ないので来園者数が多い週末もあるが、基本的には閑散時期なので来園者数が少ない。
	美容室（経営者）	それ以外	・駅前のショッピングモールに客足が流れ、商店街に客が来ない。
	x 一般小売店【洋裁附属品】（経営者）	来客数の動き	・寒い日は客足が伸びない。
	x 乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・2月の販売量は前年比90%と大変厳しい状況である。
	x 住関連専門店（営業担当）	来客数の動き	・土日祝日でも平日並みの来客数となっている。
企業 動向 関連  (中国)	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先の自動車メーカーが好調である。
	不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数と成約件数が増加している。
	繊維工業（監査担当）	受注量や販売量の動き	・シーズン序盤の時期であるが、出先の売上が前期を上回っており、店頭の動きも活発になっている。
	木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・平成30年7月豪雨のあった頃と比較すれば若干景気が良くなっている。年度末に向けて、少しずつ消費税の引上げに向けての駆け込み需要も始めている。
	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・出荷量に変動はない。

	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・足元の受注量は前年より続いている好業績時の水準を維持している。
	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼業向けの受注量が好調で、高い生産水準が継続している。
	鉄鋼業（総務担当）	取引先の様子	・国内需要は底堅く推移しており、月によって不釣合いに進行する状況はあるものの、おおむね活動水準は横ばいである。
	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は生産能力の60%にとどまっており、厳しい状況に変わりはない。
	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・直近の動向に大きな動きはなく、横ばいである。
	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・主要客からの受注量は好調を維持している。
	輸送用機械器具製造業（財務担当）	取引先の様子	・円安基調等により、造船各社は足元の四半期決算を黒字化できている企業もあるが、船価の低迷や鋼材の高騰等のコスト高は変わらず、やや悪い状態が続いている。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・いろいろ話がある割には、結論が先送りになっていることから、今一つ先行きが見えにくく、景気は変わらない。
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・予定物件で目一杯の状況が継続している。大型物件の割合が多く、計画が遅延又は中止となった場合のリスク、鋼材等の納期が長期化しており、工事の遅れや受注時期の調整が必要となる恐れがある。
	輸送業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・相変わらず仕事の依頼はあるが、戦力的に厳しく対応しきれない状況である。
	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・主な取引先からの受注量に大きな変化はない。
	通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・セキュリティ、IoT、RPA等の新規技術について製造業の客を中心に興味を持っているが、導入には慎重で成約まで時間を要する。
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年度末の決算期には受注量の増加など季節変動があるものの、例年同様の状況となっている。
	金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・地元部品メーカーの工場操業度は依然高水準であるが、系列完成車メーカーの世界販売台数が中国や北米で減少し、その影響で部品メーカーの受注は少しずつ低下し始めている。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量に大きな変動がない状況で進行している。
	会計事務所（経営者）	受注量や販売量の動き	・総務事務系のアウトソーシング関連事業の引き合いは堅調であるが、人材確保で苦戦しており、プラス面マイナス面が混在している。今後の景気状況が懸念されるので、可能な範囲で単価の見直しを実施している。
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・暖冬なので商品の受注量と販売量が大幅に減少し、売れ筋商品の価格帯も低下している。
	非鉄金属製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・電子材料や金属酸化物の販売量が減少している。
	金融業（貸付担当）	受注量や販売量の動き	・百貨店やスーパー、観光部門等、総体的に売上の減少が目立っている。
	x	*	*
雇用 関連 (中国)		-	-
	人材派遣会社（支店長）	求職者数の動き	・求職者の動きが活発で、求人への応募件数が伸びて、3か月前と比べると110%の伸び率となっている。年度末や新年度に向けて、就職希望者や転職希望者が増えている。
	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・求人数が増加しており、特にアルバイトやパートの求人数が増加し、正社員の求人数は底堅い状況が続いている。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・有効求人倍率は高水準を維持している。各製造業種の生産も堅調に伸び、個人消費も上向きである。

	職業安定所（職業指導担当）	求人数の動き	・3月末の年度末を控え、求人数が増加傾向にある。また、求職者の動向も求人数が増加することで活発化している。
	人材派遣会社（経営企画担当）	求人数の動き	・求人の受注量に変動がない。
	求人情報誌製作会社（広告担当）	雇用形態の様子	・20～30歳代前半の若年層は慢性的な人材不足のため、契約社員を正社員雇用する動きと中途採用を積極的に募集する動きは継続している。人手不足が顕著な建設関係からの転職希望者は、現在より良い条件の企業への転職を希望し、就職活動をしている。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人は、放流用稚魚の大量供給施設から増員募集があったことから農林漁業が前年同月比で7割増となっているほか、派遣会社や清掃業からまとまった求人のあったサービス業が4割増となるなど、求人全体では高いレベルで横ばいとなっている。
	職業安定所（雇用関連担当）	求人数の動き	・米中貿易摩擦の影響で、一部の自動車関連の製造業で必要部署以外の求人が取消しとなるケースがあったが、製造業全体では求人数に大きな変動はみられない。
	職業安定所（事業所担当）	求人数の動き	・直近の新規求人数は前年同月比で4.5%減少しているが、前月比では7.0%減少していることから、新規求人の動きが読みづらい。求職者数は引き続き減少傾向で推移しており、これにより求人充足が伸び悩んでいることから、各社とも従業員確保で苦戦している。
	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・半導体業界の先行きへの懸念から、一部で採用を手控える企業も出始めている。
	民間職業紹介機関（人材紹介担当）	求職者数の動き	・外国人労働者に関して在留資格に特定技能が新設されても詳細が不明なので先が見通せない。
	学校〔大学〕（就職支援担当）	求人数の動き	・人手不足は人口減少が原因であり、景気が原因とはいえない。
	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	求人数の動き	・2019年度採用の求人がまだ来るが、応募者がいない。
	-	-	-
x	-	-	-